

日本社会分析学会ニューズレター

2019年1号 [2019年4月23日発行]

発行：日本社会分析学会事務局 〒753-8511 山口市吉田1677-1 山口大学人文学部 桑畑研究室内 編集責任者：桑畑 洋一郎(事務局長)	Tel:083-933-5242(直通) E-mail: sasa@jsasa.org ホームページ: http://jsasa.org/ 郵便振替口座:01740-0-49579 (名義)日本社会分析学会
--	---

※『社会分析』46号をお届けします。同封物をご確認ください。

※ 同封の振込用紙で **2019年度会費の納入**をお願いします。同封の**明細書**をご確認のうえ、未納分や機関誌抜刷料もあわせて納入ください。**納入は必ず振込**をお願いします（振込料金をご負担ください [校費の場合も]）。**領収証は「払込受領証」**をもって代えさせていただきます。学会発行の領収証が必要な方は、振込用紙にご指示ください。

※会費に関するお尋ね

2018年7月3日付で会費をお支払いいただいた会員がいらっしゃるのですが、送金人の名義が「ニシオカ アキヒロ」様となっております（おそらく名義の入力ミスかと思われます）、どなたがお振込みになったのか分からない状況です。**お心当たりがある方は事務局まで**お伝えください。福岡での入金のようなようです。

※ **名簿**を作成しますので、同封の**返信はがきを5月8日（水）までに投函いただく目安で****ご返送**ください。（長期休業をはさむため、余裕のない日程となり申し訳ありません。電子メール sasa@jsasa.org で必要事項をお知らせいただいても構いません。なお、返信がない方については旧版の内容をそのまま記載します。）

◆研究例会の報告と予定

1. 第136回例会（2018年12月22-23日、福岡県立大学）は盛会に終わりました。お世話・ご協力・ご参加いただいた方々に感謝申し上げます。
2. 次回、第137回例会は**熊本大学**で開催します。**役員選挙**があります。詳細はプログラムとともに次号ニュースでご案内します。

第137回例会 日程：2019年7月27日（土）午後～7月28日（日）午前
会場：熊本大学（〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1）

◆第137回例会【研究報告】募集

次回例会で研究報告をご希望の方は、**報告者名、報告タイトル、報告時間を6月7日（木）必着で事務局まで**、お知らせください（電子メールまたは郵送）。

- ・報告時間は以下のいずれかを選んでください（指定がなければSとします）。
S:持ち時間30分（標準は報告20分+質疑応答10分）
L:持ち時間60分（標準は報告30分+質疑応答30分）
- ・プロジェクトを使えます。特殊な機器を使用したい場合は申込み時にご相談ください。

◆『社会分析』47号【一般投稿論文】の募集

1. 『社会分析』47号の一般投稿論文を、下記の要領で募集します。原稿の提出期限・提出先は、下記の通りです。

原稿提出期限：2019年10月1日（火）郵送必着
原稿送付先：753-8511 山口市吉田1677-1山口大学人文学部 桑畑研究室内
日本社会分析学会事務局
(封筒に「社会分析一般投稿論文」と明記のこと)

2. **投稿時には、原稿等の電子ファイルが入ったメディアを送付記録が残る方法**でお送りください。
3. 投稿に際しては、『社会分析』表紙ウラの「**投稿規定**」（2019年改正版）を遵守してください。規定に違反する原稿は受理できない場合があります。やむを得ず手書き原稿を提出される方は、早めに事務局にご相談下さい（できるだけ事務局で手配しますが、ワープロ打込みと校正に1ヶ月は余裕をみてください）。
4. 投稿原稿は審査にかかります。審査・改訂に投稿後3ヶ月程度を要します。**審査終了時には原稿コピーと電子ファイルを各1部**、お送りください。
5. 「抜刷料」は廃止になりました。（抜刷30部を無料でお渡しします。）

◆【書評】推薦の募集

随時、書評推薦を受けつけます。これは、会員著作や本学会として書評に値する著書だが、何らかの理由で自分では書評できないものを自薦・他薦いただく制度です。**8月末までに推薦書**を

学会事務局までお送りください。

推薦書（様式任意）の記載事項：

1. 推薦者名、連絡先
2. 推薦対象図書の著者、書名、出版社、出版年、ISBN
(入手しにくい図書の自薦の場合は、できれば現物1部を添えてください。)
3. 推薦理由（簡潔で結構です。)

注意) 推薦された図書は、編集委員会で検討のうえ、適当な方に書評を依頼します。これとは別に、書評原稿の直接投稿も受け付けます（この場合、上記の推薦手続は不要。投稿締切は10月1日）。

◆『社会分析』47号【特集】について

今回の特集のテーマについては下記をご覧ください。今回は一般公募はありません。

◇47号特集テーマ：『承認の構造変動』◇

社会的な「承認」は、現代社会の諸問題を読み解くキーワードとして、近年急速に注目を集めている概念の一つである。他者から肯定的に扱われる＝承認されるということは、自己実現や自己の安定化を遂行する上で必要不可欠な契機である。逆に言えば承認が欠如すると、自己のアイデンティティは安定を欠き、その結果としてさまざまな社会問題が生じる。

この問題構成を現代ドイツの社会理論家 A.ホネットは、ヘーゲルの「承認」の哲学にヒントを得て、三つの承認様式の観点から再構成した。彼によれば、身近な他者から愛され（愛情）、自律した主体として尊重され（法権利）、自らの能力や業績を評価され（社会的価値評価）て初めて、人間は十全なアイデンティティを形成しうる。この「承認」の視点から見ると、高齢者や子どもへの虐待、配偶者・恋人へのDVなどの問題は、愛情の承認の侵害と解釈されうる。また性的・文化的マイノリティーへの差別やヘイトスピーチ、高齢者や障害者の社会的排除や非正規労働の問題などは、法的承認＝人権や社会的評価が不当に剥奪された事例として、位置づけることが可能である。

このように承認は、社会問題の幅広い文脈に適応可能な規範的カテゴリーである。本特集では、21世紀において社会の承認構造はどのような方向に変化していくのかというテーマのもとに、ジェンダーや家族、高齢者やコミュニティなどを専門とする研究者に執筆を依頼し、各研究領域における承認の問題状況や動向の把握・探索を試みる。

大島 啓（長崎国際大学）

●事務局からのお知らせ

今年のニューズレター発行のスケジュールは下記の通りです。

2019年 4月 (2019年1号 [本紙])	第137回例会報告募集、『社会分析』47号論文募集 (同封：『社会分析』46号、会費請求、名簿用返信はがき)
2019年 6月 (2019年2号)	第137回例会案内・プログラム (同封：名簿)
2019年 9月 (2019年3号)	総会議事録、第138回例会報告募集
2019年11月 (2019年4号)	第138回例会案内・プログラム